

社会とつながるモノ造り実習セミナー

Practical manufacturing seminar for social contribution

社会が求めているサービスや製品について、ニーズの発掘からプロトタイプの実現にいたる研修を、PBL方式で三菱ふそう実践的教育プログラムと連携して実践する。要求されるサービス・製品を調査し、数名ずつチームを組みそのサービスや製品を実現する課題を明確化し、課題を解決しながらサービス・製品のプロトタイプを実現する。

例として、新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大防止に貢献するため、大学病院や地域の医療機関から意見聴取を実施、医療現場で求められているサービス・製品を明確化する。プロトタイプを医療機関へ提供し、アンケートによりフィードバックを得て、サービス・製品の改善を図る。



プロトタイプ試作例：
コロナ対策用フェイスシールド

セミナーで身につくスキル

- ・ パソコンを用いた2D, 3D設計手法
- ・ 各種デジタル加工機器の使い方
- ・ 材料の選定と発注方法(納入企業とのやり取り)
- ・ ユーザーの要望収集と集計・分析
- ・ 新規アイデア創出のためのグループワーキング
- ・ プロジェクトマネジメントの手法

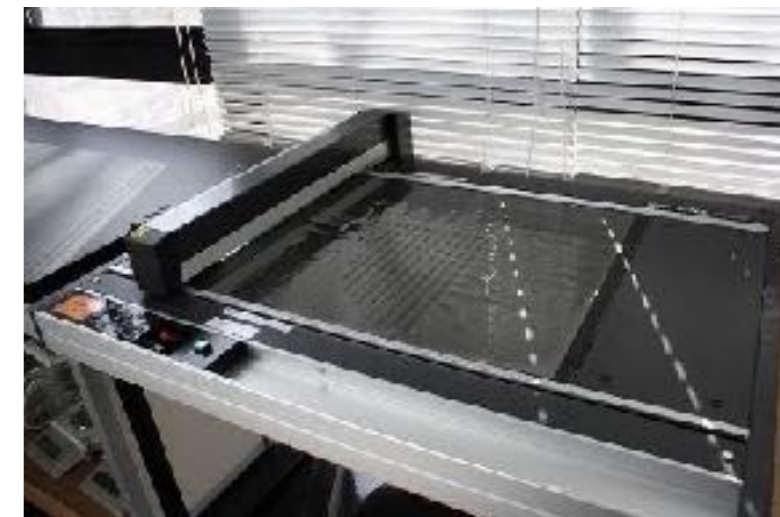
東北大BCPLレベル1の場合は、試作のための同時作業人数を2名以下に制限する。

東北大BCPLレベル2以上の場合は、参加学生にはアイデア創出と設計を担当、担当教員またはTAがプロトタイプ担当し、PBLを回すこととする。

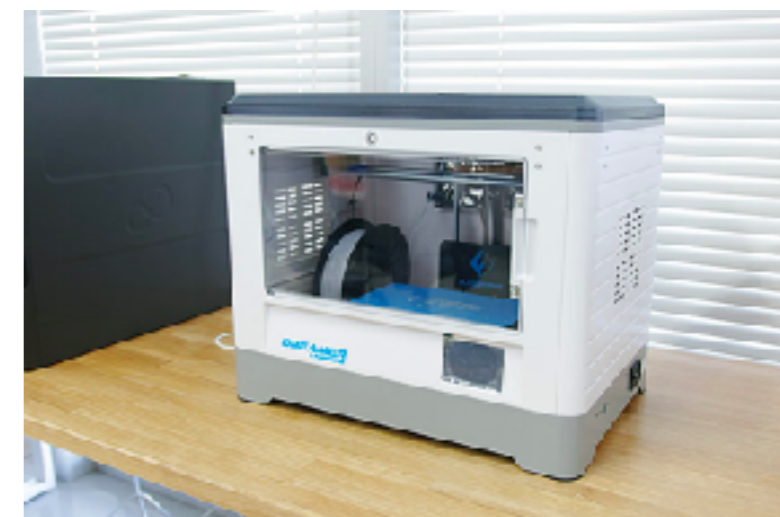
担当教員：
中瀬博之特任教授
安藤 晃教授



レーザーカッター



カッティングプロッタ



3Dプリンタ